

ブログ記事まとめ+α (2016年度版)

著者: のっていー

Copyright© ノッティー All Rights Reserved.

著作権及び利用規約

著作権について

本マニュアルは著作権法によって保護されています。

著作者の事前の許可なく以下の行為を行うことを禁じます。

- ・マニュアルの転売、複製、譲渡、公開（紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等全て）
- ・マニュアルの内容の引用、転載
- ・その他、著作者が不適切と判断する一切の行為

利用規約

本教材は、発行時点の乙の見解をまとめたものであり、その正確性を乙が保証するものではありません。投資・投機にあたっては、全て甲が自己責任で行うものとし、投資・投機によるいかなる損害が発生しても乙は責任を負わないものとします。

■ はじめに

どうもノッティーです！

この度は本PDFのダウンロードありがとうございます。

このPDFは、僕が2016年から2017年にブログで書いた記事、特にブログの読者の方から頂いたコメントから発想を得た記事を中心にまとめ、一部を加筆修正したものです。

ブログの方では、基本的に平日は毎日更新していますが、時間の都合とかもあって実はなかなか思うことを上手に表現できなかつたりすることもありました。

そう言った記事を後になって改めて読み直してみると「ちょっと勿体ないなあ」と思ったりするんですね。

そんなわけで自分の考えをまとめる意味でも、記事を加筆修正したPDFを作ってみました。

ブログを毎日読んで下さる方にはおさらいとして、初めてブログを見る方には僕がどんな考えでトレードしているか分かって頂けるモノになっていると思います。

このPDFが皆様のトレードのお役にたてれば幸いです。

■ 勝てるようになる人の特徴

僕の教材を購入された方から頂いたメールの一部です。

今年の3月29日から教材を読み返してはひたすら練習を続ける事2ヶ月。

最初は資金曲線が緩やかに右上がりになったのですが大きなジグザグになったので、右下がりになる部分のトレードを減らす為に何回も教材を読み直して、自分が実践できていないワードをみつけては行動を修正し、結果を見直して・・・の繰り返しを毎日続けました。

(中略)

クリックする前に

『この形で師匠は入ってるか？いやこんな形では入らないから見送ろう。』

・・・そうしたら収支と勝率が一変しました。

収支曲線が綺麗な、なだらかな右上がりになりました。

最近では以前にも増して「調子が上がって勝てるようになりました！」というメールをもらいます。僕としても凄く嬉しいですね。

そんな中で、勝てるようになってきた人たちのメールの内容にとある共通点があることに気づきました。それは以下の2つがしっかりと書かれているということです。

- ・ **自分がどこでつまづいて、どうやってそれを解決したのか。**
- ・ **今後の自分の課題とそれに対する対策。**

僕もコレに気づいてハッとしました。

勝てるようになった！というメールをくれる人は、上の二つを本当に細かく報告してくれるのです！

人によって何が弱点なのか全然違います。

元々持って生まれた性格的なものもありますし、それまでのトレードによる経験則やトラウマがトレードの邪魔をすることもあります。

そんな中で**自分の弱いところは何かが分かるのは自分だけです。**

自分の弱点を積極的に分析して、解決策を考えて、実行する。

この繰り返しが一番トレード結果の向上につながるんですが、実際にやれる人って少ないんですよね・・・。

でもこういった努力が出来る人は確実に着々とレベルアップしていく。
逆に怠けている人は進めない。コレが現実なんです。

何にも考えずにトレードしていたら、ある日突然トレードの神が降臨してきて、それからは安定してトレードで勝てるようになる！ってことはまず無いです。

タマに運が良い時もあるでしょうけど、それは長くは続きません。
どんなこともそうでしょうけど、大事なのは自分の腕。
正しい努力を続ける人は着実に前に進んでいくのです。

もう一度書きますが、勝てるようになる人は、

自分の弱点や改善したい点を積極的に見つけ、試行錯誤しながらも解決する方法を模索して実践していきます。

自分の弱点や改善点を知るには、トレード中に思ったことや考えたことを紙にメモしたり、トレード後にはトレードをノートを付けて、定期的に過去のトレードを分析して、自分のトレードの傾向を知る必要があります。

弱点や改善点を解決するには、検証が必要不可欠です。

「ああでもない、こうでもない」と頭を捻りながらチャートを動かしていくしか無いのです。

「面倒だから・・・」と思ってこの過程を飛ばしてはいけません。

純粹にトレードを楽しみたいだけなら構いませんが、それよりも先を見据えて、トレードで安定した利益を出し続けることを考えているのなら、検証は不可欠です。

以上をしっかりとやれている人には結果がついてきます。

手法について、自分の弱点について理解し、上手にトレードできるようになれば、頭一つ抜けたトレーダーになれるはずです。

それとは逆に、「**この人は意識を変えないと勝てるようになれないだろうなあ**」

と思う人もいるのも事実。

それはどんな人かと言いますと・・・

- ・ ネットで調べればすぐにわかるようなことも質問する
- ・ 質問ばかりで自分の頭で考えることを放棄している
- ・ アドバイスしたことを受け取らない
- ・ ルール通りにやらない
- ・ 結果も出ていないのに勝手にルールを改変する

大体こんな感じですね。

特に上の3つが全部当てはまる人は正直言って「厳しい」です

トレードは自分自身の問題にも関わらず、自分では解決しようとせずに他人に頼ってばかりな態度な上に、そのアドバイスを聞かないわけですから（笑）

トレーダーであるならば、自分を律することが出来て、自分自信で考える力が無いとダメだと僕は思っています。

そうじゃないと、変わりゆく相場に対応できないからです。

そして、自分で考えたり悩んだりしている過程こそがトレーダーとして一番成長している時です。**辛い時が一番伸びる時なんです。**

ここから逃げてばかりだったら、どんなにトレード歴があったとしても本気で頑張っている経験の浅い人に軽く追い抜かれます。これは本当です。

本人の意識次第で結果は大きく変わるんですね。

■ トレードの準備と重要性

オリンピックの花形と言えば陸上、そして短距離走だと思います。
短期間で決着がついて、誰が見ても一目瞭然で勝敗が分かりますからね。

その中のスーパースターと言えば、**ウサイン・ボルト**

彼は2008年～2016年のオリンピックで合計9個の金メダルを獲得した人類最速の男。
お金も相当稼いでいるようで、2015年は2100万ドル、2016年は3250万ドルの収入
だったそうです。凄いですね・・・。

彼には多くのスポンサーがついており、その結果多額の収入があるわけですが、
誰も「**短時間のレースだけで多くの企業からスポンサー契約できて楽だろうなあ**」
なんて思わないですよ？

なぜなら、彼がそのタイムを出すために生まれ持った才能以上にどれだけの努力を
してきたか、どれだけのプレッシャーで試合をしているのか、そのタイムがどれだけ
神がかっていることなのかを僕たちは知っているからです。

だからこそ多くの人が彼に賞賛を惜しまないのです。

さてさてFXの方はどうでしょうか？

チャートを見て売買のクリックするだけのお仕事です。

簡単です。すぐに儲かります。素人の方が利益が出しやすいかも？

なんていう広告を見ると「そんなに簡単ならやってみるか！」と思いたくなるもの。
でも現実はやっぱりスポーツの競技と同じで、試合（トレード）自体はすぐ終わる
ものの、その試合に勝つために日夜練習やトレーニングを続けて技術を磨いていく
必要があります。

よくよく考えれば当たり前のことなんですけど、
トレードにおいてはこれがなかなか理解してもらえなかったりするんですね。

でも、トレードで勝ち続けるためには、継続した努力とそれによって培われた技術がやはり必要なんです。

ただトレードのややこしい点として、技術のほかに**ランダム要素**も入ることですね。
相場には、どうしても不確実性があるのです。

ボルトクラスの間が、足の速い小学生に100m走で負けることはまずないですが、
トレードの世界だとそれがああるんですよ。しかも頻繁に。

つまり、技術があっても負けることは普通にあるし、逆に技術が無くても楽に勝つ
事があるわけです。これが人を勘違いさせる大きな要因です。
技術が無くても単に運さえあれば、プロよりも稼ぐことだって不可能ではないのです
から・・・。

でも運だけだと長くは続きません。
技術が無くても運だけで勝ち上がった人は、その後、必ずと言っていいほど破滅します。
当然です。トレード続けていたら運が良い時、悪い時があるんですから！

運が良い時は誰だって勝ちます。
逆に運が悪い時、相場が合わない時にどのように対処することが出来るのか？
ここで**トレーダーとしての本当の技術が問われることになります。**

やはり、運や相場のサイクルを乗り越えて継続して勝ち続けるためには、
攻撃と守備の両方の技術を備えないといけなんですね。

トレーダーはランダムな要素に振り回されがちですけども、結局練習して腕を磨くしか
ないのです。そのためには時間と努力が必要。

簡単に稼いでそうに見えるその裏側には、多くの苦勞と涙と失敗と経験がベースと
なっているんです。それを忘れてはいけません。

■ 損切りとなったトレードの考え方について

教材購入者の方とメールのやり取りをされていてよく思うことがあります。

それは、「**損切りとなった理由をやたらと探し求める人が多い**」ということなのです。

トレードで負けるのは悔しいですし、次に同じ失敗を繰り返さないためにも「なぜ損切りになったのか？」について検証するのは決して悪いことではありません。むしろ正しいことです。

特にトレード手法がキッチリ理解できていないレベルの人の場合は、しっかりとルールにのっとってトレード出来たかどうかチェックするのは大事なことですし、しっかりと確認すべきことです。

しかし、手法についてしっかりと理解もしていてルール通りに仕掛けられるレベルの人が、1回1回の負けトレードについて「なぜ負けたか？」を詳しく吟味して行って、今後の負けトレードを減らそうとするのは、一種の聖杯探しにもつながるので注意が必要だと思っています。

こういう人は「結果には必ず原因がある」と考えるタイプが多くて（基本頭が良い）負けトレードの因果関係をキッチリと調べたがる傾向にあるようです。

でも毎回の相場の動きに無理矢理原因を求めてもあんまり意味がありません。だってある程度はランダムと不確実性が支配する世界なんですから。

自分にとって鉄板のポイントだと思っても損切りにあうこともあるし、逆に「ここから上げるわけないでしょ！」と思ったとたんバイーンと上げることもありますし。

相場には理解不能な動きをすることがよくある、ということを受け入れて、ある程度の負けを受け入れながらトレードしていくことが大事だと思います。

負けを避けたいがために完璧主義者になり過ぎると、今度はエントリーすら出来なくなってしまうので・・・。

もちろん何度も何度もトレードする中で「ここはよく負けるよなあ・・・」と思うところが出てくるはずですので、その時は過去のトレード履歴とチャートを見ながら検証した方がいいのは言うまでもありません。

あくまでも**1回1回のトレードの負けにこだわり過ぎちゃいかんよ**、っていう話です。

では、逆にこだわるべきなのが週単位、月単位のトレードの見直しですね。
ある程度トレード回数を重ねた売買記録を見直すことはトレードの上達に欠かせません。

- ・ **ルール無視はなかったか？**
- ・ **勝てるどころだったのにビビってエントリーしていないところはなかったか？**
- ・ **利食いが早すぎなかったか？**
- ・ **損切りは適切だったか？**
- ・ **いつも負けるようなポイントはなかったか？**
- ・ **いつも負けるような時間帯はなかったか？**

などなど、売買記録を見直すことで、トレードをやっているだけでは気づけなかったであろうことや自分の修正点が沢山見つかるからです。

もし、ここでルールを破っていなかったら・・・、もし早めに損切りしていたら・・・など考えたり計算したりしてみると、ちゃんとルールを守ることの重要性も明確にわかるんじゃないでしょうか？

何度も書きますが、相場の動きにはランダムな要素が付きまといまいます。
これはどうしようもないです。努力でどうこう出来るもんじゃありません。
でも、**自分自身の行動や考えについては変えることができます。**

相場自体に期待するのではなく、自分の成長に期待しましょう。

■ 勝ちグセを掴むためにトレードを制限しよう

教材を購入された方から頂いたメールの一部です。

トレードはストレスをなるべく小さくしようと、監視通貨をポンドのみに、
時間もきっちり22時～0時までの約2時間。

あと、ルールも今まで検証してきた自分なりのルールも実践に投入してやってきました。

トレード数も今までの半分以下になりましたが、

トレード回数 17、勝率75%。

+120PIPで終える事が出来ました。

不思議なもので自分にとって楽になるように行動したら、今までよりも利益が出ました。

通貨も一つにするのもちょっと抵抗があったのですが、ストレスが軽減されたのが
自分でもわかりこのままいこうと思います。

この方は基本的に毎月勝っている方なのですが、トレード時間を短縮し、通貨ペアを
ポンドに絞ることで、勝利もグンと上がったうえに精神的に楽になったそうです。

不思議ですね。精神的に楽しようとしたら利益まで上がるというのは・・・。

普通の仕事なら、利益を増やすには精神的にキツイ事をやる必要もあるわけですが、
トレーディングはこの限りじゃないんですね。

トレードは自由です。無限の選択肢があります。

特にFXは24時間取引可能、レバレッジあり、そこそこの通貨ペア数・・・と選択肢が
盛りだくさんです。

でも、選択肢が多いことで自分の欲だけが拡大して、無駄なトレードが増えてしまう
ということは否定できません。

あれも取りたい、これも取りたい、とやっている、どれも取れないんですね。

だから僕も「FXって勝てるんだ！」という感覚が染み込むまでは、ある程度制限を
入れたトレードをする方が良いと思っています。

制限を入れるのがどうも難しい、制限ルールを入れても破ってしまう・・・
そんな人は相場にのめりこみすぎです。
少し相場から離れてリフレッシュしてから戻ってくることをお勧めします。

■ **メンタルが足を引っ張っている時の対策**

教材を購入された方から頂いたメールの一部です。

おかげ様で調子が良くなってきて週単位でもプラスになることが多くなりました。
しかしレード中に1回損切りすると、以前負けていた頃のことをフラッシュバックして、「ここでエントリーしても負けるんじゃないか？」と考えて次のトレードを尻込みすることが多くあります。何か対策等はございませんでしょうか？

完全にメンタルが足を引っ張っていますよね。

週単位で勝つことが多くなってきては、腕は上がってきているわけです。
でも、過去の辛い経験が更なる飛躍を邪魔している・・・そんな状況ですね。
いわば、技術にメンタルが着いてきてないんでしょう。

これは個人が過去にどれくらい精神的なダメージを受けたかで対策は方法は変わってくると思うのですが、少なくとも「過去の自分と今の自分は全く違う」と、自信を持つ必要があります。

僕の提案できるやり方としては、**ロットを最低限まで下げてから、自分が「エントリーできる」と思えるところは絶対に入るようにする、**
というのがあります。

どうせ負けたところで大した金額じゃありません。
自分に対する自信を高めるためには、とりあえず自分が大丈夫と思うところは全部エントリーです。

その結果、今までよりも良い成績だったら絶対に自信がつくはずですよ。
自分のトレードに納得できるはずですよ、負けがあったとしても、
トータルで考えたらこのやりの方が勝てる！とわかることですよ。

過去の辛い失敗経験も、今の自分の実力を知れば少しは和らぐと思います。

まずは損失覚悟で自分の実力を試みましょう。
ココで一步先に進めたら、更なるステージに上がれるのは確実ですよ。

トレーディングにおいて自信過剰は危険ですが、自信が無さ過ぎるのもダメです。
「自分のやり方ならトータルで勝てる」と言い聞かせて、目先の損益に流されず
トレードを続けていくことが大事ですね。

■ **クソ相場のクソな動きを避ける方法**

8月ごろにブログに頂いたコメントです。

「この時期でトレードする上で気を付けていることはありますか？」

僕が一番大事にしていることは「**分からない**」ということを**尊重すること**ですね。
8月や12月はチャートがグチャグチャになりがちです。
何が何だかさっぱり分からない時もあります。

そんな状態の時は、無理にチャートを分かろうとする必要はありません。
分からなければトレードをしない、という選択肢もあるわけですから。

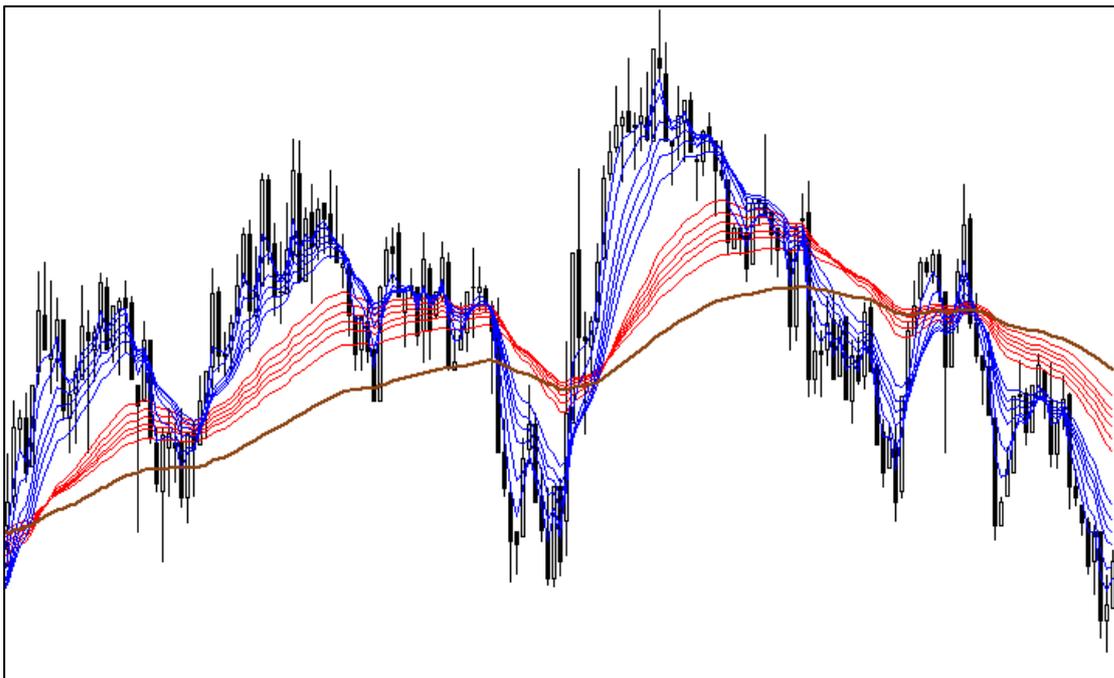
分からないチャートを無理矢理に自分の型やルールに当てはめてトレードしても
いい結果は得られません。

それなら、自分の型にはまるチャートが来るまで待つ方がずっとマシです。

少なくとも変なエントリーをして損切りに合っただけで無駄にイライラすることはありませんから。自分のチャンスではないと判断して、何もしないことが正しいこともよくあるのが相場なんですね。

でもチャートを見ているとどうしても流されてしまう…という人は、自分の手法にとって理想的な動きをしたチャートを印刷した紙を見ながらトレードするとブレずにトレード出来るようになるんじゃないかと思います。

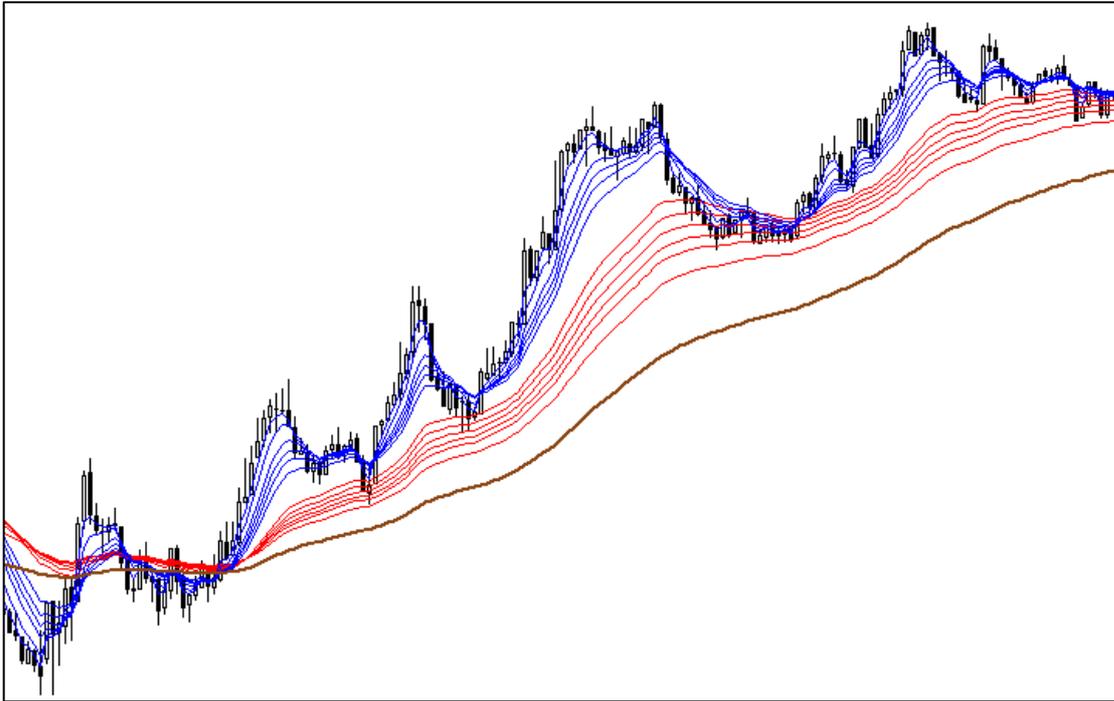
例えば、今見ているチャートが下のような状態だったとします。



かなりチャートが乱れていますよね。僕は「クソ相場」と呼んでいます。手を出したらやられてしまいそうです。

でもチャートをじいっと見ていると、「トレードしてみようかな？」なんて思うことがあると思います。

そんな魔が差しそうなきには自分にとって良い動きをしたチャートを見てやる。



どうでしょう？さっきのチャートと全然違いますよね。

明らかにこっちのチャートの方が見やすく狙いやすいのではないのでしょうか。

こんな感じで、動きが悪い相場の際は、自分にとって都合の良い動きをしたときのチャートを見返すことで、目を補正出来るかと思います。

■ 個人的なマルチタイムフレームの考え方

ブログでこのような意見を頂きました。

上位時間軸がこうだからそれに従うというのも、あまり根拠がないと私も思います。仮に日足が上昇トレンドだとしても、もみ合いや調整期間なら下位時間軸のショートでもとれるわけだし。ロングすれば勝てるところがたくさんあるという認識ぐらいでよいと思いますね。やはり執行時間軸で考えるということが迷いがなくてやりやすいですね。

僕の持論ですが、**トレードで絶対に正しい考え方・手法はありません。**

しかし絶対的ではなくても、少なくとも自分にとって正しい手法というものはある、それこそが自分にとってストレスが少なめでやりやすく、勝てる手法です。

自分に合ったやり方や考え方を採用して、技術を磨き続ける、
と言うのが僕の考えるもっとも効率の良いトレードスタイルです。

コメントをくれた方は、「**上位時間軸よりも執行時間軸を優先して考える方がいい**」
という意見ですが、一般的なマルチタイムフレームの考えとは少し違うようです。
しかし、ブログを長く読まれている方ならご存知のように、**僕も全く同じ意見。**

大きな時間軸が上昇トレンド中であっても、常に上昇しているわけでもありませんし、
上昇しきったら調整や下落もよくあるものですからね。

特に日足レベルでの上昇トレンド中の調整やちょっとした下落であれば、
1分足は十分に狙うことが可能です。

それに多すぎる時間軸をみると、情報が多すぎて混乱したり、
トレードを躊躇する原因になるんですね。

だから僕はエントリー&エグジットに関しては執行時間軸の1分足メインで考えています。

教科書的な考えとは違いますが、これが僕にとっては正しい考え方・手法のようです。
もちろん最初からこのようにやっていたわけではありません。

大勢の人が言うような日足から始まって、複数の時間軸を見て・・・
とマルチタイムフレーム分析もしましたが、ダメだったんです。

ある時に「**最低限必要な情報は何か？**」を考えて、余計な情報をシャットアウトして
色々としぎ落としていったら、5分足で狙う方向を決めて、執行時間軸の1分足で
エントリー&エグジットする、という方法にたどり着きました。

正直なところ、一般論の「こうやるべきだ」的なことから離れるのは心配ではあり
ましたが、結果的にはこのやり方で長くなってこれているので、僕にとっては
正解だったようです。

こういった経験から「トレード手法や考え方に絶対は無い」
という考えに行きつきました。

だから別に**他の手法や考え方を否定するつもりはありません。**
自分に合ったやり方を探すのは大事なことですからね。

ただ、トレードの常識的なことを妄信的に信じるのは自分の可能性や幅を狭めること
になると思いますので、それは止めておいた方がいいでしょう。
全ての手法やアイデアに「常識的なこと」が通用するとは限りません。

自分で検証してやっぱり王道的なマルチタイムフレームの考え方が良いと思えて、
それで一番利益が出るのならそれでいいのです。

正解が無い、と言うのがトレードの魅力であり、難しいところでしょうか。

■ 待ち時間の過ごし方

ブログにこのようなコメントを頂きました。

「待ちすぎてチャンスを逃しました、ついテレビを見ていて入れませんでした、ノッティーさんはどんな風に待ち時間を過ごしているんですか？」

僕個人としては、待てずにポジポジ病になってしまうくらいなら、待ちすぎてチャンスを逃す方が全然優秀だとは思っているんですが、大きな利益になるはずだったチャンスを逃した時の機会損失の気分は、それはそれでキツイものがあるんですよね。

僕はトレードの待ち時間ではチャートをチラチラ見ながらネットサーフィンしたり漫画を読んでいます。テレビは絶対に見ないようにしています。僕は音に対して結構神経質で、音が聞こえてくると集中できないんですよね。

また、ポジションを持っている時はチャートに集中しています。で、問題はどんな時にチャートをじっくり見て、どんな時に少し気を抜くか・・・です。これを間違えるとチャンスを逃すことになりますからね。

基本的にトレード手法というものは、

エントリーからほど遠い状態⇒エントリーが近くなる状態⇒エントリー直前⇒エントリー⇒決済⇒エントリーからほど遠い状態orエントリーが近い状態・・・
というサイクルを繰り返しています。

僕はチャートを見て「**エントリーからほど遠い状態**」と判断した時にのみ漫画を読んだりネットを見たりしていますね。もちろんそのときであっても首を動かしたらチャートを見られる状態です。

だから、チャンスを逃さないためにも「エントリーからほど遠い状態」をしっかりと認識できるようになる必要があると思います。

コレが認識出来れば力を抜くところが分かりますし、トレードがかなり楽になると思います。

実際のところ、エントリーからほど遠い状態を認識するのってそんなに難しくはありません。

自分の手法の範囲からかけ離れているところなわけですから。
もし、それが分かっているチャートが気になってエントリーしてしまうならポジポジ病ですね。

「自分の守備範囲以外ならどんな動きしても構わないよ」

という考えも大事なんでしょうね。
値動きの全てを捉えられるわけないんですから・・・。

■ 土日の過ごし方について

ブログにこのような質問を頂きました。

土日の過ごし方はどうされていますか。

土日だけでなく平日も、つまりトレードタイムは「待つ」作業が長いと思いますが、検証や日誌の見直しなどに割く時間や意識はどの程度の量をトレード時間外に置いていますか。

私の場合は、土日に相場から集中力を完全に切らすと週明けは「うらしま太郎状態」になってしまい、すべてリセットされてしまいます。

僕の場合、予定が入っていなければ、土曜日の午前中に1週間分のトレードの見直しや検証をすることにしています。

一応、平日も毎日午前中に前日のトレードの見直しや検証をしているので、週末の検証は1週間の総ざらいと言った感じですね。

なので最近はそこまで時間をかけていませんし、日曜日は完全にフリーになるようにしています。

トレードが人生の全てではありませんからね。

まあ、スキャルピングトレーダーからすると1日でも時間が空くと、ちょっと「うらしま太郎状態」な気がするのはいけませんよね。

そんなわけで僕は月曜日の午前中は前週1週間分のチャートを動かして感覚を取り戻すことにしています。

加えて、月曜日は相場の動きが悪くてエントリーチャンスが少なかったりするので、リアルタイムのチャートを見ながら感覚を更に取り戻す…と言う流れが多いです。毎週コレの繰り返しです。

以上のように、トレード時間外にもトレード関連の事をやっています。
トレードに真面目に取り組んでいる人にとっては当然かもしれませんが、
トレード時間外にやる検証や見直しこそが自分の技術をアップさせるモノです。

スポーツで例えば、試合がトレード、練習が検証や見直しに相当しますね。
まあ何でもそうなのですが、「試合」に相当するものにかかる時間よりも
試合に勝つための準備にかかる時間の方が圧倒的に多くあるべきです。
しっかりとした準備や練習の礎があって本番で力を発揮できますから。

トレードは待ち時間が長いので「トレード時間<検証時間」とは簡単に行きませんが
それでもある程度勝てるようになるまでは、トレード時間を削ってでもしっかりと
検証や練習をやるべきだと僕は思います。

試合ばかりやってても「技術の向上」に関しては効率よくありません。
漫画とかでよく「**戦いの中で成長している!!!**」
なんて言う描写がありますが、それは一部の天才ですから（笑）

普通は試合から得られた反省点やアイデアを練習に活かして、練習で得られた技術を
試合に活かすものですから。

■ 終わりに

平日に毎日ブログを更新していると色々なことを書いているものですね。
値動きに対する愚痴、ファンダメンタルズの話、今後の展望、トレードの考え方についてなどなど。

過去の記事を見直すと、結構内容が被っていたりすることもあるのですが、その部分は僕にとって強い信条なのだと思っています。

実は他にも今回のPDFに掲載しようと思った記事もありましたが、長くなりすぎるのもよろしくないと思ひまして、ここで終わりとさせていただきます。

ブログを始めて、教材を販売して、色々な方とネット上で交流させて頂いていますが、やはり勝てるようになる方は目標を持って頑張っておられます。

才能がある人なんてほんの一握りで、他の勝ち組は、自分自身の努力で勝てるようになっているのです。

ランダム要素の多いために努力の成果が分かりにくかったりもしますが、続けていけば、必ず「前の自分からすると成長している・・・」と思う日が来ます。

まだ勝てるようになっていない方は、ぜひこのPDFを参考にしながら努力を継続して頂ければと思います。

最後の最後に広告を・・・。

僕のトレード手法と考え方につきましては、詳しく解説したマニュアルをDLmarketにて販売しております。

数あるトレード手法の中でも有効性の高いされる「押し目買いと戻り売り」をGMMAとRCIを使って仕掛ける手法です。

マニュアル購入者の方向けに、サポートブログもあります。

サポートブログの方では

- ・ MT4用のインディケーターとテンプレートのダウンロードと設定方法の解説
- ・ 無料でできるMT4を使ったトレード練習方法の解説
- ・ 効率の良い検証方法の解説
- ・ マニュアルでは書ききれなかったチャートやトレードの補足事項
- ・ 購入者の方から頂いた質問の解説
- ・ FT2用のGMMAとRCIのインジの配布（製作者様のご厚意です）
- ・ 日々のトレード解説

等をやっています。マニュアルを一度読まれたら、サポートブログの方も一緒に読んで頂ければ、より一層理解が深まると思います。